

校訓 「くじけるな のびよ身と心 大望をもて」



あかぎ

赤木名の子らよ、大木になれ・七本のあかぎ

1月号 平成30年1月23日(火)発行

《 いのち チャレンジ (挑戦) 感動 感謝 》

追いかけて続ける夢は！いつかきっと

校長 前田 和洋



平成30年が始まって1か月が過ぎようとしています。子どもたちも学校生活に慣れ、勉強や運動にいっしょうけんめいがんばっています。

9日(火)の始業式では、2年生の永田虹花さんが今年の目標を発表してくれました。自分の考えを堂々と発表する姿を見て頼もしく思いました。他の子どもたちもそれぞれ目標を立て、目標達成のためにい

ろいろなことにチャレンジしてくれるものと願っています。

3回のオリンピックに出場し、アテネ・北京オリンピックの100m、200m平泳ぎの金メダリストとなった北島康介さんは、

夢と目標の違いを、『目標』は『夢』に近づくための階段だと思うんだ。二つの違いは、今の自分にはできないけれど、いつかはそうなりたいというのが『夢』。今の自分が頑張ればできそうなことを『目標』と言うのかな。」と述べています。

1月7日の日曜日から、鹿児島を舞台とした大河ドラマ「西郷どん」が始まりました。その最初のタイトルバックの放送には、本校を平成4年3月に卒業された「里アナ」さんが歌手として参加されています。彼女はおそらく小学生時代に描いた夢の階段を昇り、確かな目標を見つけて今その夢の花が開いた時だと思えます。里さんの他にも、本校からは目標を夢に進化させ、夢を叶えた先輩が大勢います。その素晴らしい先輩方から後輩たちは学び、後に続くよう「夢」をしっかりと持って、日々努力して欲しいです。私たち職員はそれを精いっぱい応援していきます。

偶成より一部抜粋
経霜耐雪
楓梅
葉花
丹麗

また、その大河ドラマの「西郷どん」が作った漢詩に「偶生」があり、その一節に「**雪に耐えて梅花麗しく、霜を経て楓葉丹し**(雪の寒さの試練に耐えてこそ、梅の花は美しく、霜の厳しい苦難の経験を経てこそ、カエデの葉は紅くなるのだ。)」があります。この詩のように、本校の子ども達も、幾度も試練や苦難に出会うと思えます。それを経てこそ、美しい花を咲かせ、立派な人としての根幹を形成し、人となりの色も出せるので

はないかと期待しています。6年生は、今年中学校に進学し、三年先は高校受験等が控えています。今の自分をよく見つめて、自分の良さや課題をしっかりと自覚しながら将来に「夢」を描くことが大切だと思います。それは、他の学年の子どもたちにも同じことが言えます。

カナダの作家モンゴメリが書いた「赤毛のアン」の中に「**追いかけて続ける夢は、いつかきっと叶えられるものです。**」という言葉があります。自分を信じて、家族や仲間を信じて「夢」をもち、それが叶えられるよう、学校職員も精一杯今年も研鑽を続けながら、子どもたちの教育活動に邁進していきますので、地域の皆様、保護者の皆様の学校教育への御理解と御協力をよろしく願います。



毎月第3日曜日の午前中は、
家庭の日・市民清掃の日